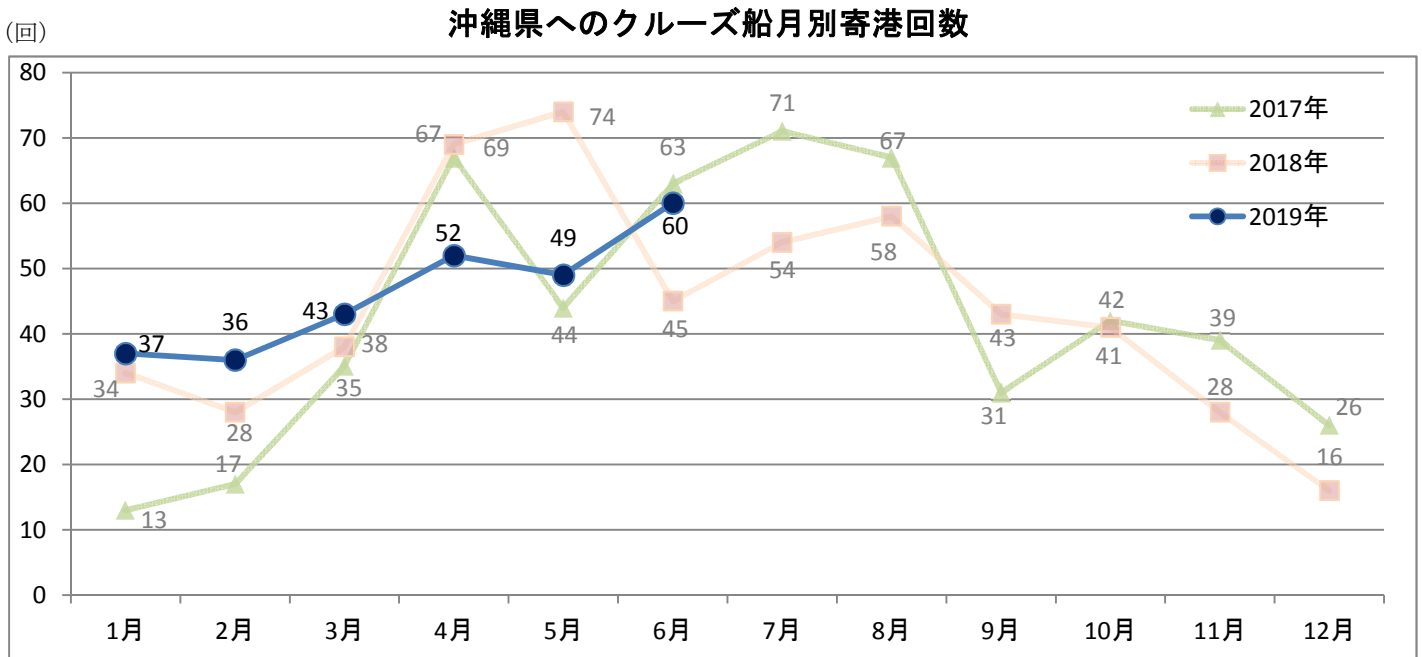


OKINAWA Cruise Report (7月号)

○2019年クルーズ船寄港回数（令和元年6月末までの速報値）

2019年6月のクルーズ船寄港回数は、60回（前年同期比15回増）
 2019年6月までのクルーズ船寄港回数は277回（前年同期比11回減）



2018・2019年 沖縄県内へのクルーズ船寄港回数

単位：回

月	2018			2019			前年同期比		
	外国船	日本船	計	外国船	日本船	計	外国船	日本船	計
1	33	1	34	36	1	37	1.09	1.00	1.09
2	28	0	28	34	2	36	1.21	-	1.29
3	38	0	38	42	1	43	1.11	-	1.13
4	55	14	69	40	12	52	0.73	0.86	0.75
5	74	0	74	49	0	49	0.66	-	0.66
6	45	0	45	60	0	60	1.33	-	1.33
7	54	0	54						
8	58	0	58						
9	43	0	43						
10	41	0	41						
11	27	1	28						
12	14	2	16						
累計(1~6)	273	15	288	261	16	277	0.96	1.07	0.96
合計(1~12)	510	18	528						

出典：港湾管理者からの聞き取りに基づき沖縄総合事務局が作成

各港における5月末までの寄港回数（計：277回）

港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数	港湾名	寄港回数
那覇	130	平良	66	石垣	67	中城湾	9	辺土名漁港	1
祖納	1	儀間漁港	1	船浮	1	伊江	1		



内閣府

【Okinawa Cruise Topics】

・国土交通省は6月28日、2018年の我が国のクルーズ等の動向について調査結果を公表し、日本人のクルーズ人口、クルーズ船の寄港回数及び訪日クルーズ旅客数を発表しました。

それによると2018年の日本人のクルーズ人口は32.1万人となり、2年連続で過去最高を記録しました。また、外航旅客定期航路の利用者数は146.3万人に達しました。

我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数は、外国船社が運航するクルーズ船の寄港が対前年比5%減の1,913回。一方、日本船社が運航するクルーズ船の寄港回数は対前年比35.4%増の1,017回となり、合計で過去最高の2,930回を記録しました。なお、訪日クルーズ旅客数は245.1万人（対前年比：3.1%減）となりました。

沖縄総合事務局管内の港湾では那覇港が243回（全国第2位、対前年比19回増）、平良港が143回（全国第5位、前年比13回増）、石垣港が107回（全国第9位、対前年比25回減）となり、前年に引き続き全国トップ10に3港がランキングされました。また、都道府県別の寄港回数は528回（対前年比13回増）を記録し、こちらは3年連続で全国第1位となりました。

※参照：2018年の我が国のクルーズ等の動向に関する調査（国土交通省プレス発表）

http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji02_hh_000243.html

・ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社所属の最新の大型クルーズ船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ（168,666トン）が6月25日、那覇港に初寄港しました。初寄港を歓迎する歓迎セレモニーでは、花束贈呈や記念楯の交換が行われました。今年4月に完成したばかりの同船には、最新鋭の設備が搭載され、上海を拠点として沖縄を含むアジアショートクルーズを運航しています。



6月25日、那覇港に初寄港した「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」

・ドリームクルーズ社所属のプレミアムクラス「ワールド・ドリーム」が7月3日、石垣港へ初寄港しました。台湾からの乗客約4,300人が八重山の美しい自然や文化を堪能しました。船内では初寄港を歓迎するセレモニーが行われ、ユーグレナ石垣港離島ターミナルではテnderポートで上陸した観光客等をエイサーのアトラクションで歓迎しました。



【今後の注目点】

・ロイヤル・カリビアン・クルーズ社所属「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ (138,194GT)」が7月29日石垣港に、MSCクルーズ所属の「MSC スプレディダ (137,936GT)」が8月4日に中城湾港に初寄港する予定です。両港では初寄港を歓迎するセレモニーが開催される予定です。

【問い合わせ先】 内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課

担当者：與儀、福井、宮里 TEL：098-866-1906、FAX：098-861-9916